

施策2 良好な生活空間の創造

作成日: 平成21年7月24日 主管課名: 都市整備部建設課

施策名称	主管課	施策の対象	施策の 対象指標	施策の意図	施策の成果指標	実績値 (H17)	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	単位	目標値 (H20)	目標値 (H21)	目標値 (H22)	取得方法	指標取得 主管課・係	算定式・取得先等	施策の20年度目標達成度とその要因	施策の22年度目標達成に向けての課題
2 良好な生活空間の創造	建設課	市内全域 市民	市域面積 H16:323.25k ㎡ 人口(17年3 月末住民基本 台帳人口+外 国人登録人 口)	良好な生活空間が確保されている	良好な生活空間が確保されていると感じる市民の割合	55.8	58.7	58.4	57.8	%	成 60.0	成 61.0	成 62.0	市民アンケート	建設課	・H20市民意識調査(問2-)あなたのお住まいになっている地域の生活環境や生活環境について、日頃、どのように感じていますか？ 良好な生活空間が確保されている そう思う17.0 % どちらかといえばそう思う 40.8 % (合わせて57.8 %)	「良好な生活空間が確保されていると感じる市民の割合」について、20年度目標値61.0%に対し、実績値は57.8%であり、多少下回った実績値となった。 施策の振り返り(施策の20年度方針の達成状況) 20年度の予算編成方針では、総コストを削減しながら施策成果の維持・向上を図る施策に位置付けられており、事務事業全般の見直しにより施策コストの削減を図った結果、総コストは減少した。 (生活道路)道路舗装率は19年度未現在で64.0%と、県内市町村で第13位である。15年度から18年度にかけて、合併特例債等によって拡幅等改良工事を進めてきている。年792件(平成20年度)の要望があり、維持修繕以外の要望への対応は難しい状況にある。 (上水道)計画通り事業を実施し、上水道と簡易水道を併せた普及率は20年度末で93.2%となっている。19年度末県平均(専用水道を含む。)の92.6%を上回っているが、さらに事業推進に努めていく。 (住宅・住環境)住宅の種類の状況は、持ち家が7割、借家が3割で持ち家の割合が多いものの、借家の需要も依然として底堅いものとなっている。個人住宅の新築等は減少傾向である。核家族化が進み、人口が減少しているにもかかわらず世帯数は増加している。民間による賃貸マンション、アパート建設は行われている。 (公園・緑地)都市公園と児童公園は人口一人当たり7.7㎡で全国平均をやや下回るが、用地取得済みの総合公園が整備されると面積的には約2倍となる。未整備の市街地等での公園の整備要望があるが、区画整理に伴う整備以外には進んでいない。	22年度の成果指標の目標値を達成するため、生活道路の利便性の向上、水道未給水地域の解消と施設老朽化への対応、良好な居住環境の整備、身近な公園の維持管理について推進を図っていく必要がある。

基本事業名称	主管課	基本事業の対象	基本事業の 対象指標	基本事業の意図	基本事業の成果指標	実績値 (H17)	実績値 (H18)	実績値 (H19)	実績値 (H20)	単位	取得方法	指標取得 主管課・係	算定式・取得先等	基本事業の成果水準とその背景	基本事業の成果実績に対してのこれまでの 主な取り組み(事務事業)の実績
1 生活道路の整備	建設課	市内全域 市民 生活道路	市域面積 H16:323.25km ² 人口 道路延長	安全で快適に移動できる	舗装率 苦情・要望への対応率	63.4 72.7	63.9 75.9	64.0 72.1	65.9 77.0	%	業務取得	建設課	・市道舗装延長 / 市道総延長(業務取得:資料名「道路現況」) ・河川改修事業において、小細浦川、小出水路を行い、小出水路が完成した。 苦情・要望の対応については、全体の件数が792件に対し、修繕対応件数が611件(処理率77.0%)であった。その内容は、主に維持修繕的なものについてはほぼ対応できたが、改良工事に近い要望への対応は難しい状況であった。	舗装率については、18年度が63.9%、19年度が64.0%、20年度が65.9%と年々増加している。 ・20年度は、道路改良事業として、小壁線、増給線、山田線、長谷堂線、中野小細浦線、沢田中井1号線の工事を行い、中野小細浦線、沢田中井1号線の2路線が完成した。 ・水道普及率(上水道及び簡易水道の普及率)は、平成20年度末現在で93.2%となっている。引き続き、建設改良に伴う施設整備や未給水地域の解消及び高台等水圧不足対策を実施し、水道水(飲料水)の安定供給に努めた。	主な事務事業は以下のとおり ・市道整備事業(小壁線、増給線、山田線、長谷堂線) ・道路・河川等維持補修事業 この事業で大半の苦情、要望等に対応した。
2 上水道・簡易水道の整備	水道事業所	市内全域 市民 上水道施設	市域面積 H16:323.25km ² 人口 上水道区域面積	安全な水が安定して供給される	水道普及率	93.0	93.0	92.9	93.2	%	業務取得	水道事業所	・簡易水道を含む(業務取得:給水人口 / 給水区域内人口)	水道普及率(上水道及び簡易水道の普及率)は、平成20年度末現在で93.2%となっている。引き続き、建設改良に伴う施設整備や未給水地域の解消及び高台等水圧不足対策を実施し、水道水(飲料水)の安定供給に努めた。 第4浄水場配水地築造外工事、国道45号配水管布設工事等を実施 ・越喜来簡易水道整備事業 市道小壁線配水管布設替工事、市道崎浜東側添線外配水管布設工事	主な事務事業は以下のとおり ・建設改良に伴う施設整備事業(送・配水管布設替、水道施設設備更新) ・市道生形1号線外配水管布設替工事、第2浄水場他機械・電気・計表設備更新工事等を実施 ・水道施設整備事業(未給水地域解消、高台等水圧不足対策) 第4浄水場配水地築造外工事、国道45号配水管布設工事等を実施 ・越喜来簡易水道整備事業 市道小壁線配水管布設替工事、市道崎浜東側添線外配水管布設工事
3 住宅環境の整備	都市計画課	市内全域 市民 公営住宅	市域面積 H16:323.25km ² 人口 市営住宅戸数	良質な住宅に住んでもらう	公営住宅の入居率	91.5	94.1	93.2	91.4	%	業務取得	都市計画課	年度末数値で把握 入居戸数 / 公営住宅戸数	公営住宅の入居率は、空き住宅の戸数が増えたことから、20年度は、91.4%と対前年度比で1.8ポイント減少した。	主な事務事業は以下のとおり ・市営住宅管理事業 ・市営住宅維持修繕事業 ・木造伝統技能者育成事業 木造伝統技能者育成を図るため、年間を通して24回講座を開講した。 上記のほかに参考事業として、「木造住宅耐震補強工事助成事業」がある。 15・16年度の2カ年にわたって、市内木造住宅を対象に、木造住宅耐震診断事業で、120戸の耐震診断(個人負担1戸あたり3千円)を実施、102戸、93.3%の住宅が危険であると診断された。これをもとに17年度は木造住宅耐震補強工事助成事業(補助金上限額1戸当り30万円)を5戸、18年度は1戸、19年度は2戸、20年度は4戸に対して実施した。
4 公園・緑地の整備	都市計画課	市内全域 市民 公園・緑地	市域面積 H16:323.25km ² 人口 42千人 都市公園面積 25.41ha	公園・緑地が確保されている	都市計画区域人口市民一人当たりの公園面積(都市公園+児童公園)	7.5	7.5	7.5	7.7	㎡	業務取得	都市計画課	年度末数値で把握 (都市公園面積+児童公園面積) / 都市計画区域人口	新たな公園整備がないため、市民一人当たりの公園面積(都市公園+児童公園)は前年度とほぼ同じである。都市計画区域内人口が減少しているため、一人当たりの公園面積は増加している。	主な事務事業は以下のとおり ・総合公園用地維持管理事業 草刈、風倒木処理や樹木伐採を行った。 ・人と自然・ふれあい公園整備事業 公共下水道供用開始区域の公園トイレ水洗化を実施。(H13:赤沢公園、H14:富沢公園、H17:館下公園、H18:御山下公園、H19:みどり町公園、H20:佐倉里公園) ・都市公園機能強化施設整備事業 一般公園施設整備に合わせた防災関連施設も整備(H20:笹崎公園工事、加茂公園測量調査等) ・緑のまちなみ整備事業 条件を満たし個人宅へ生け垣設置助成を3戸(上限5万円)行った。